

令和元年度和水町一般会計・特別会計 歳入歳出決算審査報告

総務文教常任委員会が所管する各課の令和元年度和水町一般会計及び特別会計の歳入歳出の決算審査を、9月10日と11日の2日間に亘り、実施した。その結果、令和元年度決算は決算事務処理が適正になされているとの意見集約をみたので、認定したことを報告する。

税務住民課
一般会計の自主財源である町税の収入済額は、約9億3千万円で、歳入の約11%を占め、対前年度比で3千7百万円増となった。
滞納分は、「玉名郡4町職員による併任徴収班」を編成し徴収率の向上に努めている。
国民年金の収納率は、玉名管内トップで78%。昨年より若干改善されたと報告を受けた。
生活環境部門では「せきすい斎苑」の管理負担金等、有明行政事務組合への負担金約2億円を支出。
ごみ減量対策として、学校や行政区で取組むリサイクル運動に補助金の増額を検討し、リサイクル運動を推進することで、有明行政事務組合に取める負担金及びゴミ収集経費など町の支出経費が軽減される事になるのではないかと、検討課題として取組むことを要望した。又、環境美化意識の啓発・向上に繋げるために河川の水質検査の結果を公表するよう事務の改善を促した。

国民健康保険事業会計について、歳入では国民健康保険税が約2億6千万円、歳入の2割を占め、収納率は91%である。又、一般会計から約1億円を繰入れている。
次に歳出の主なもの医療費が約8億7千万円で歳出の約7割を占めている。
特定健診の受診率は8月時点で66%と高受診率であり、個人指導の徹底により、重症化を防ぎ改善が見られている。

学校教育課
主たる歳入は、菊水中学校と菊水中央小学校の校舍改修、校舎増築等に係る国庫補助金約1億8千万

総務・文教常任委員会

委員長 池田龍之介

円。主な歳出は、菊水中学校の校舍改修、菊水中央小学校の校舎改修・校舎増築・プール改築及び土地の造成繰越分の8億7千万円。
小学校費は、スクールバス運行経費などの学校管理費約5千万円。
中学校費は、学校管理費など約3千4百万円。学校共同調理場費は、人件費約8千万円で約87%を占めている。これは、ある部門の機構改革による歪の顕れであり、一部門だけの安易な機構改革は、慎むべきであると思い知らされた。

社会教育課
歳出額は、対前年度比で約4千5百万円減額となった。主な要因は金栗四三翁関連事業費が約2千8百万円減額になったことによる。

又、金栗四三顕彰事業について説明を受け、駐車場として購入した土地代金は、支払いを終え、6月に登記が完了した。

三加和総合支所住民課

夏祭り盆踊り大会の運営は、総合支所職員だけで担っており負担が大きいと報告があった(以前は町商工会主催)。
三加和温泉取穫祭との統合について今後の協議・検討を促した。
又、町の給配水事業については所管課の一元化と使用料見直しの方針を策定するよう促した。

春富財産区特別会計

春富財産区は将来、町の普通財産として管理をすることを検討すべきであろうこと。又、学校林についても、町有財産として取扱うかどうか、町の指針を出すべきではないかと意見の集約を見た。

まちづくり推進課

主な歳出は、町内7つ路線のバス運行維持補助金約3千8百万円を産交バスに交付している。
おでかけ交通「あいのり君」運行事業として1千7百万円。
なお、産交バスから下津原経由の路線廃止が提案

専条補そ決報	正の算	決：1件 例：6件 算：8件 他：4件 算：11件 告：1件
計		31件

9月議会議案

採決結果 町長提出議案一覧

議案番号	区 分	議 案 名	審議採決の結果
承認第12号	専決 (補正予算)	専決処分の承認について (令和2年度 和水町一般会計補正予算(第6号))	原案承認
議案第58号	条例	和水町手数料条例の一部改正について	原案可決
議案第59号	条例	和水町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
議案第60号	条例	和水町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
議案第61号	条例	和水町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
議案第62号	条例	和水町林業関係分担金徴収条例の一部改正について	〃
議案第63号	条例	和水町病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例及び和水町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	〃
議案第64号	補正予算	令和2年度 和水町一般会計補正予算 (第7号)	〃
議案第65号	補正予算	令和2年度 和水町国民健康保険事業会計補正予算 (第2号)	〃
議案第66号	補正予算	令和2年度 和水町介護保険事業会計補正予算 (第1号)	〃
議案第67号	補正予算	令和2年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算(第3号)	〃
議案第68号	補正予算	令和2年度 和水町簡易水道事業会計補正予算 (第1号)	〃
議案第69号	補正予算	令和2年度 和水町特定地域生活排水処理事業会計補正予算(第2号)	〃
議案第70号	補正予算	令和2年度 和水町後期高齢者医療事業会計補正予算 (第2号)	〃
議案第71号	補正予算	令和2年度 和水町病院事業会計補正予算 (第3号)	〃
議案第72号	その他	物品購入契約の締結について	〃
議案第73号	その他	財産の減額譲渡について (旧菊水東小学校・土地)	〃
議案第74号	その他	財産の無償譲渡について (旧菊水東小学校・建物等)	〃
議案第75号	その他	権利の放棄 (病院事業診療費) について	〃
認定第1号	決算	令和元年度 和水町一般会計歳入歳出決算	原案認定
認定第2号	決算	令和元年度 和水町国民健康保険事業会計歳入歳出決算	〃
認定第3号	決算	令和元年度 和水町介護保険事業会計歳入歳出決算	〃
認定第4号	決算	令和元年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計歳入歳出決算	〃
認定第5号	決算	令和元年度 和水町住宅用地造成事業会計歳入歳出決算	〃
認定第6号	決算	令和元年度 和水町簡易水道事業会計歳入歳出決算	〃
認定第7号	決算	令和元年度 和水町下水道事業会計歳入歳出決算	〃
認定第8号	決算	令和元年度 和水町特定地域生活排水処理事業会計歳入歳出決算	〃
認定第9号	決算	令和元年度 和水町春富財産区特別会計歳入歳出決算	〃
認定第10号	決算	令和元年度 和水町後期高齢者医療事業会計歳入歳出決算	〃
認定第11号	決算	令和元年度 和水町病院事業会計決算	〃
報告第3号	報告	令和元年度 決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について	報 告

陳情等の審査結果

受付番号	受付年月日	件 名	審査結果	付託委員会
131	令和2年 8月6日	請願書 町道水落線「道路舗装」について	継続審査	厚生建設経済 常任委員会
142	令和2年 8月26日	堤の埋め立て事業に関する陳情書	〃	厚生建設経済 常任委員会
153	令和2年 8月27日	教職員定数の改善並びに義務教育及び新型コロナウイルス感染症対応に係る確実な財源保障をはかるための、2021年度政府予算に係る意見書提出の要請について	請願取下	総務文教 常任委員会
159	令和2年 9月1日	町道 西山2号線に架かる天神橋改築に関する陳情書	継続審査	厚生建設経済 常任委員会

されており、この際、東郷経由も含め『あいのり君』運行を考えているとのこと。これを受け、町内に発着地のある路線も合わせて協議し、路線バス補助を軽減し、あいのり事業に衣替えをして、事業の拡充を図ってどうかと促した。
定住促進事業として新婚さん定住促進奨励金を10組に交付。
藤田さくらタウンの「住宅用地造成事業特別会計」の歳出は、地質調査業務、測量設計業務、不動産鑑定業務、水道の実施設計等の業務委託料、樹木伐採等の第1期造成工事費であった。

総務課
令和元年度の一般会計歳入決算額は、86億3,178万円、歳出決算額は、75億8,966万円で、対前年比で歳入7億1,482万9千円の増額、歳出6億5,696万6千円の増額となった。
歳入のうち、地方交付税が36%、国・県支出金が17.5%、町税が10.8%で、自主財源である町税は、依然として低い水準にある。又、普通地方交付税は、優遇処置の合併算定替が令和2年度で終了することから、段階的に減額され令和元年度決算においては、前年度比で約5千8百万円の減額となり、厳しい財政運営にある。
積立金は、預金利子と国債等の運用益など約430万円を積立てた。一方、財源充当のために約1億1千万円を取り崩している。
歳出は、義務的経費(人件費・扶助費・公債費)28億2千5百万円、投資的経費(建設事業費・災害復旧費)約22億3千万円、その他(補助費・物件費等)約25億3千万円。
令和元年度の地方債残高は、約78億6千万円で、前年度比の約5億1千万円増加している。
最後に、複数行政区の間の無住家区間の防犯灯が不足している。
町の宝である子どもたちの安全安心のためには、町が防犯灯を設置し、管理することを要望した。
又、久井原ニュータウン、グリーン・ビレッジ平野における水道の維持管理・運営について担当課が連携して、一刻も早く方針を決定するよう要請した。
常任委員長 池田龍之介 副委員長 秋丸要一
委員 森潤一郎、高木洋一郎、齋木幸男、白木淳

ズバリ!聞きます 一般質問

9月定例会では8名の議員が一般質問を行いました。主な質問事項は次のとおりです。

荒木 宏太議員

9P

- 議決承認以前に学校跡地プロポーザル選定企業より寄附を受け取ることはコンプライアンス違反ではないか

齋木 幸男議員

10P

- 小学校跡地利活用法、絵に描いた餅とならないよう計画の100%達成を
- 「クラブなごみ」の運営と状況は
- 米渡尾区や前原区の安全対策は

森 潤一郎議員

10P

- 7月豪雨災害の町内の状況について

秋丸 要一議員

11P

- 歳出が年々増加！入るを量りて出づるを制す！

*一般質問の記事は、質問した議員が600字程度に要約したものです。原文を尊重していますが、一部編集しています。
*発言が「～である。」調で記載していますが、質問・答弁は丁寧語で発言されています。
*会議録は町の公式ホームページで閲覧できます。

問 地域雇用創造協議会は、平成25年、坂梨町長時代に企画立案・事務準備、平成26年、福原町長就任の年に当協議会が始動。現在の高巢町長に引き継がれ2期、準備から現在迄7年という歳月の期間活動してきた。なぜ今中断する事になったのか。

答 (商工観光課長) 事務方の方で

問 企業誘致、移住定住の近況は。

答 (町長) 感染症対策でセミナー等の開催が中止状況であるが、総合計画の基本目標に沿ってトップセールスとして努力している。又、学校跡地活用対策事業で契約候補者の選定を進めている。移住定住において、藤田さくらタウンでは8区画の販売が決定した。空き家バンク制度については、一定の効果が出ている。

提案 コロナ禍、人口の都市集中緩和の観点から、昨今の状況は移住定住者の誘致はチャンスである。

問 地域雇用創造協議会は、平成25年、坂梨町長時代に企画立案・事務準備、平成26年、福原町長就任の年に当協議会が始動。現在の高巢町長に引き継がれ2期、準備から現在迄7年という歳月の期間活動してきた。なぜ今中断する事になったのか。

答 (商工観光課長) 事務方の方で



竹下 周三議員

7P

- 企業誘致は進んでいるか
- 地域雇用創造協議会はなぜ、中断したのか
- 肥後民家村の管理は万全か

池田 龍之介議員

8P

- 県道沿線にみえる化を図った歴史民俗資料館の新設をなし里帰り展の実現へ向けた事業展開を!!

白木 淳議員

8P

- 子ども達の意見に耳を傾ける機会を

高木 洋一郎議員

9P

- 町の施策遂行には、実施計画は不可欠だ!



竹下 周三議員

企業誘致は進んでいるか
地域雇用創造協議会は
なぜ、中断したのか
肥後民家村の管理は万全か

事業の検証が間に合わなかった。
答 (町長) 職員の人れ替わり等が影響した。事業の検討と計画立案対応が不慣れであった。反省している。次年度に繋げたい。

提案 厚生労働省100%の国の補助金で実施され、1億円を超える補助金は本町にとっては有利で大切なものであり、執行部の反省と今後の奮闘を望む。

問 小学校教科書に掲載されている江田船山古墳を有する、肥後民家村看板等管理の不備を再三指摘しているが、対応は十分か。

答 (町長) 船山古墳は、本町では一番の宝。本当に恥ずかしい。私の指導不足であり、しっかりと反省も込めて、即対応したい。

令和元年度和水町一般会計・特別会計 歳入歳出決算審査報告

厚生・建設・経済常任委員会

委員長 坂本敏彦

委員会が所管している一般会計における農業委員会、農林振興課、商工観光課、建設課、健康福祉課、特別会計における介護保険事業会計、特別養護老人ホーム会計、和水町病院事業会計、簡易水道事業会計・下水道事業会計・特定地域生活排水処理事業会計について9月10日、11日、常任委員6名により各関係職員同席のもと慎重に令和元年度決算審査を行った審査結果報告を行う。

農業委員会

歳出決算総額は、前年比361万7千円の減額であり減額の主な要因として、事務局体制が3人から2人に減員し人件費の減額が主な要因である。本町は、町単独補助の「農地流動化補助金」の交付により近隣の町と比較すると、農地の貸し借りの件数も多く、主幹産業が農業の和水町は、事務量に対し職員数が少ないのではとの意見であった。

農林振興課

農業就業改善センター解体にかかる費用2千868万4千円を支出してある。
年々増加する有害鳥獣被害に対し令和元年度は猟友会、駆除隊、わな猟会により「543頭」が駆除された。

治山事業、間伐補助を行われているものの、年々自然災害が甚大化するなか、さらに林道、間伐作業道の整備、間伐が必要と思われる。間伐を行い間伐材を搬出する事により自然災害が減少し有害鳥獣対策にもつながると意見であった。

商工観光課

和水町プレミアム付商品券事業に支出されている。金栗四三PR事業大河ドラマ「いだてん」関係費用を支出。

菊水ロマン館等施設管理費、和水江田川カヌー・キャンプ場施設管理費、三加和温泉等施設管理費などとして支出されている。和水江田川キャンプ場のカヌー館下のカヌー発着場に土砂が堆積しカヌーの発着場として機能せずに支障をきたしているため、早急な改善が必要である。

建設課

令和元年度より緊急自然災害対策事業が実施され、水路の付け替えや町河川改修工事が実施されている。道路維持・道路新設改良工事で総額6億311万4千円となり、町道の維持経費、江田高野線整備事業、内田吹野線整備事業、西光寺中林線整備事業が主な事業となる。

次に建設課所管の特別会計、簡易水道事業、下水道事業、特定地域生活排水処理事業、3つの特別会計については、独立採算による企業形態を念頭に事業の拡大と町民にとって安心安全な環境整備に努めていただきたい。

特別養護老人ホーム

歳入では、特養利用者の入院延べ日数が前年度、月平均163日から192日の増加、1日当たりの平均利用者が、定員110人に対して109.9人と、ほぼ定員の利用者数まで努力されていた。

デイサービス通所介護については、前年度1日当たりの利用者17.1人が15.5人と減り約22.6万7千円の減となっている。利用者減の要因として、町内の福祉事業所の増加が一つの要因と考えられる。また細部にわたり支出削減の経営努力がなされていた。

和水町立病院

多くの公立病院が経営状況の悪化や医師不足のために、医療提供体制の維持が困難になるなか、令和元年度は、目標に近い患者数の確保により入院収益の増収に加え、不採算地区病院に対する特別交付税の単価の見直し等により増収となり、経営収支比率が改善され3千71万8千円の黒字となっている。

健康福祉課

健康福祉課は、地域福祉施策、健康増進事業に関する事業が実施されている。

老人福祉センター施設解体に伴うアスベスト除去業務委託料442万8千円、解体費用として、1千9百17万円が支出されている。

児童福祉費として「幼児英語教育の導入」「学童保育施設建設」神尾保育園の施設改修工事により7億2千7百50万3千円、前年比10.7%の増額となっている。

健康福祉課所管の介護保険事業会計、第7期介護保険の給付額は、13億円程度で推移し安定しており、基金積立金についても合計で1億円積み立てたことになり、安定した事業運営である。

以上で厚生建設経済常任委員会に付託された令和元年度決算審査報告とする。

常任委員長 坂本敏彦 副委員長 竹下周三
委員 蒲池恭一、庄山忠文、松村慶次、荒木宏太

問 7月豪雨による文化財の被災状況は。

答 (町長) 国・県・町指定の文化財は32件ある。被災文化財は3件でいずれも国指定文化財だ。

豊前街道腹切坂と塚坊主古墳は、さほど大きな被害はなかったが、田中城跡では約30箇所の土砂崩落があった。

答 (社会教育課長) 田中城跡の被災状況は、文化庁調査官に確認してもらった。令和3年度の補助事業での復旧を目指すべく、国・県と協議中である。

提案 田中城跡は土砂崩れを起こし易いので、杉の伐採と樹木植林を計画することを提案する。

問 中世城跡の測量調査について。

答 (町長) 中世城跡は菊水地区に15、三加和地区に11の城跡がある。

菊水地区の測量調査はすべて完了した。三加和地区では田中城跡と神尾城跡の2城跡が終了した。

問 三加和地区の残り9つの城跡は未調査である。大雨が頻発している昨今、貴重な中世城跡が崩落しかねない。

特に肥後国衆一揆と関係深い「浦部の陣跡」と「坂本城跡」は、早急に調査すべきである。

答 (社会教育課長) 必要な事業の優先順位を付けて実施したい。

問 町の施策は基本構想、基本計画、実施計画に基づいて予算措置されていると認識している。町の実施計画の策定状況は。

答 (総務課長) 令和元年度に策定し、その後ローリング(見直し)作業は行っていない。



高木 洋一郎 議員

7月豪雨による文化財の被災状況は？
中世城跡の調査事業の進捗は？

問 持続可能な開発目標「SDGs」(エス・ディ・ジーズ)政府も地方創生を継続して進めるために、少子高齢化や地域の人口減少、経済規模の縮小等様々な課題を自治体SDGsの目標の指標と捉え、持続的に成長して行ける力を確保しつつ、人々が安心して生活が出来る様なまちづくりを目指す取り組みに重点を置く事業に対し、制度化し手厚い補助等に於いて取り組む自治体を支援する方向性を見せられており『江田船山古墳』からの出土品を活用した『資料館のみえる化』県道沿線に新設をなし、仁徳天皇陵等の古墳群が世界遺産に指定され、古墳ブームの再燃が期待でき、出土品の年一回開催する里帰り展実現を目指してはどうか。

答 (町長) 古墳は先祖を大事にする。歴史教育をしつかりやり、子ども達に自信と誇りを持たせたい。資料館の見える化した処に新設をする事には賛成だ。

問 町内小学校の統廃合により、跡地活用事業による民間へ売却により、指定避難所の減少が懸念される現状を踏まえ、町体育館、ふれあい会館、グラウンド、駐車場

場を含めた所を防災公園として整備をしてはどうか。近年の自然災害の甚大化を受け、政府も防災・減災事業に手厚さを感じられ、補助金獲得も有利かと思われる。我が町は九州の臍(へそ)に当る位置にある有利性を活かし、被災地への物資後方支援基地とした防災基地を創つたらどうか。

答 (町長) 東海、東南海、南海地震が来ると、東側の海岸地帯は被災すると予想されており、その時物資をどうやって運ぶのか、池田議員と同じような考えをもっていた。政府から一方的に、プッシュ方式で荷物を送り届ける。一箇所持つていき、そこそこではなく、一応拠点に運びそこから必要なところに仕分けをし、送り届ける。このような事業があれば、真つ先に手を挙げたい。

要望 現在進めている、番城グラウンド整備事業は殆ど町単独事業であり、財政負担が大きく、体育館等の補修・改修も含めた構想の下、此の防災公園事業として取り組めれば、財政の負担軽減にも繋がる有利な事業展開が望めるのではないか。事業の構想に知恵を絞り実現に向けて進めてもらいたい。



池田 龍之介 議員

県道沿線にみえる化を図った
歴史民俗資料館の新設をなし
里帰り展の実現へ向けた
事業展開を!!



白木 淳 議員

子ども達の意見に
耳を傾ける機会を

問 町長の出前授業や子ども議会を開催できないか。

答 (教育長) 出前授業については、町長の仕事内容や町づくりへの思いなどを語っていただき、生徒と意見交換を行うなどの学習については、町長との行事調整がうまくできれば実現可能ではないかと思う。子ども議会については、公民の学習の成果を活かす場としての開催であれば、地域と学校が共同して生徒の育成に当たることを狙いとした、社会に開かれた教育課程の趣旨に沿うものであると思う。ただ、今年度の実施は難しいものと考えている。

答 (町長) 県下の他町においても既に実施されている状況なので、我が町も機会があればぜひ子ども議会を開催したい。

問 今回のコロナウイルス感染症対応の交付金事業に高齢者向けの

メニューがないのはなぜか。

答 (町長) 町の活性化のために町民全ての方に5,000円の商品券を配布し、その後、子育て世帯の方々が大変苦労されている状況なのでそちらを手厚くした。大変申し訳ないが、今回はご理解いただきたい。しかし今後、検討する事案があれば検討し、喜ばれる対応ができるようにしたい。

問 免許返納者・買い物弱者の高齢者にセニアカー(シニアカー)購入の補助はできないか。

答 (町長) 以前よりご提案をいただいているが、なかなか状況は厳しい。何とかしなければという思いはある。しかし財政的に手が届いていないのが実情だ。



荒木 宏太 議員

議決承認以前に学校跡地
プロポーザル選定企業より
寄附を受け取ることは
コンプライアンス違反ではないか？

問 寄附について疑問に感じる点があった、旧神尾小学校提案型プロポーザル選定後に、その選定企業より寄附を受け取ったという報告である。寄附の品は、町民の手にも渡っているということだ。これは疑われる行為になるのではないかと懸念する。プロポーザル後であっても、町の最高議決機関である議会の決定なしに寄附を受け取るという行為は、問題はないのか。そして、このことはコンプライアンス、公務員倫理としての問題は無いのか。

答 (町長) 和水町寄附採納事務取扱規程があり、それにのっとりて処理をしている。これに関しては、議会の議決は必要ないと判断をしているので、問題ないと解釈をして対処したところである。

答 (総務課長) これは規程ののっとりてやっている。いろんなところ

から寄附を頂いているが、この疑いはどこまでも切りはない。そのほかにも企業からたくさん実際あつて。地元の企業もある。全てが100%払拭されるものではないと思う。判断を最終的には町長が行う。町長の裁量権であると認識している。

提言 疑われる行為にならないようクリーンにやっていただきたい。この件については、誰もが悪意はないと思われるが、今後もしかしたら、町民から、そういう声が上がることもあるかもしれないので、今後の対応、対策等をしつかり考えていただきたい。





**小学校跡地利用が、
絵に描いた餅とならないよう
計画の100%達成を
「クラブなごみ」の運営と状況は
米渡尾区や前原区の安全対策は**

- 問** 南小学校のブローザルは。
答 (町長) 南小学校のプレゼンテーションは9月24日に開催する。
問 学校跡地の売却費の活用は。
答 (町長) 学校教育施設の整備資金に積み立てて活用する。
問 菊水小学校が開校して、学校跡地が売れたらそれで活用が済んだという声も聞かえる。跡地を民間の活力で、雇用創出・過疎・少子化解決の起爆剤にすることが最終目的だ。事業完結に向けた気持ちは。
答 (町長) 全力で取り組む。
問 旧南・東・西・神尾小学校体育館は地区の指定避難所だ。今後の避難場所は。
答 (町長) 他の避難場所でも対応する。来年度の和米町防災会議で審議決定したい。
問 「クラブなごみ」は運営が始まったばかり。今は指導者のボランティア精神で成り立っている。
答 (町長) 町の応援や援助が必要ではないか。
答 (町長) 指導者の努力で成り立っている。出来る限りの支援は惜しむことなくやっていく。
問 今年度の出生数は。
答 (町長) 8月までで19名。
問 少子化対策は他の町村に見劣りしないが、効果が現れなければ意味がない。少子化対応・移住定住化を推進する新部署が必要では。
答 (町長) まだ考えはない。
問 災害の時に正確な情報を得るには防災無線が一番。この防災無線を活用し、さらに町民の暮らしを向上させる取り組みは。
答 (総務課長) 条例の中で生活の配慮等々を考えて運用している。
問 さくらタウンの造成やスクーパスの運行で米渡尾地区や前原地区で、交通事故の懸念が生じている。
答 (町長) 全力で安心安全を守る。



**歳出が年々増加！
入るを量りて出するを制す！**

- 問** 一般会計予算額が7月時点で100億円となった。町長は入るを量りて出するを制するために、それぞれについてどのような施策を考えているか。
答 (町長) 出を制するためには、新規事業を控え、公共施設の維持管理費用の抑制が必要だ。入るを量るについては、歳入がピーク時から4億円減少している。歳入確保のためには、補助金の活用やふるさと応援寄付金の獲得で歳入減少を食い止める。
問 歳入確保のための本丸は、雇用の創出と企業誘致だ。企業誘致を積極的に推進することで、好循環を促し、将来を見据えた町の発展に繋がると考えるか。
答 (町長) 現在町内4つの学校が遊休化している。維持費の抑制のため、現在企業の誘致活動を推進しているところだ。また町内にも素晴らしい企業がある。各企業が



**7月豪雨災害の
町内の状況について**

- 問** 7月4日から降り続いた町内豪雨は約1週間で三加和地区1,000ミリ以上の膨大な集中豪雨となった。人命の損傷こそなかったものの町内各地で甚大な被害が出ており、各地で河川、道路、山林、農地など決壊や崩落が発生している。町内の被害状況を聞く。
答 (農林振興課長) 農作物では樹園地の崩壊によるミカンの被害、イチゴ、スイカ、なすのビニールハウスの損壊及び冠水や土砂流入による水稲の埋没、表土の流出が発生。農作物、施設等の被害はおおよそ9,600万円となる。林業関係の被害は総額で3,670万円となっている。
答 (建設課長) 7月9日から罹災証明書の交付申請を受け付け、28件の申請があつていいる。公共災害状況については、町河川30カ所、町道30カ所、被害額4億1,800万円である。又、農業災害については、田78カ所、畑18カ所、取水堰4カ所、水路64カ所、農道56カ所、ため池5カ所、被害額4億6,700万円となる。
問 今後の工事復旧目途について。
答 (農林振興課長) 西山地区災害については被災面積約2ヘクタール、被災延長500メートルと非常に大規模災害となっているため、県営事業で取り組んでいる。復旧にあたっては県庁森林保全課の概略測量の発注。その成果を基に林野庁と財務局を併せたところでの事業費の決定となる予定である。
答 (建設課長) 復旧の目途は現在立っていない。災害査定後に復旧工事を行うことになっている。

特集

**あなたの優しさと強さが
私の励ましになるんです
ありがとう、あなたから私へ
私から若者へ**

なごみエンターテインメントアカデミー校長

柴田 千代美 さん (総合プロデューサーの想い)

映画「光を走る人」の製作は、5年前に私の故郷、和米町で廃校となつた旧春富小学校の跡地を利用して学校を設立することが決まっていた。この町に何かが残したい。この町で何かをやりたい。この町に何かを残したい。



福岡での音楽学院の設立からはじまり、アーティスト・俳優のプロデュース、保育園・学童保育の設立など、数々の施設・人のプロデュースに携



ました。金栗先生に教えられた教訓を胸に私は今後も頑張ります。公開は来年4月を予定しています。楽しみに待っていてください。